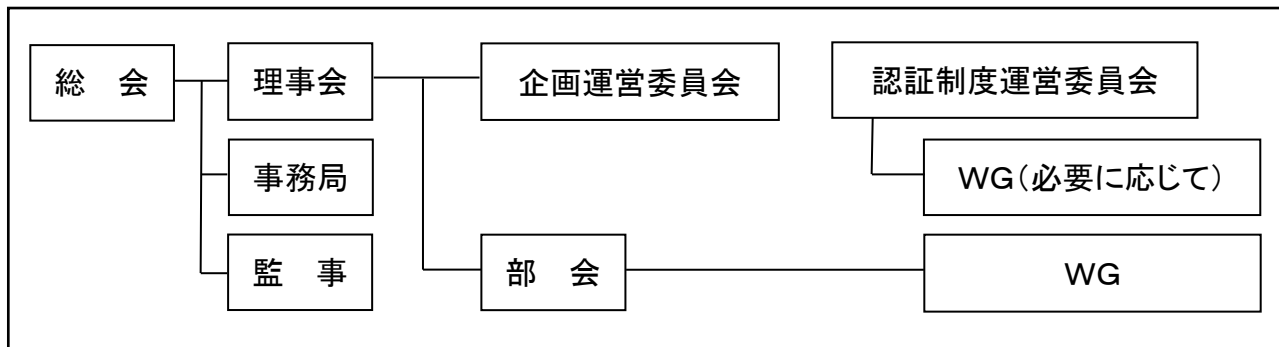


令和4年度 事業報告

1. 事業報告

(1) 組織



(2) 役員構成

理事長	吉田 篤正 (大阪公立大学大学院 客員教授・早稲田大学 教授)
副理事長	増田 昇 (大阪府立大学 名誉教授・LA まちづくり研究所 所長)
理事	竹林 英樹 (神戸大学大学院 准教授) 西村 伸也 (大阪市立大学 名誉教授) 林 由起子 (大阪ガス株式会社 企画部 ESG 推進室 室長) 藤本 啓史 (関西電力株式会社 I&E・環境企画室 環境マテリアルグループ チーフマネージャー)
監事	水田 克史 (大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 課長) 岡本 充史 (大阪市 環境局 環境施策部 部長)

(令和5年3月31日時点、敬称略)

(3) 活動実績

(1) 理事会及び総会の開催

第1回理事会(令和4年6月10日)及び総会(書面)(令和4年6月20日)を開催し、理事長及び副理事長の選任、顧問の選任、部会長の選任、理事及び監事の選任、令和3年度の事業報告及び収支決算、令和4年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について議論し、承認を得た。

第2回理事会(書面)(令和4年9月12日)を開催し、2025年日本国際博覧会 協賛(運営参加)提案募集へ申請することについて議論し、承認を得た。

(2) 企画運営委員会の開催

第1回企画運営委員会（令和4年5月16日）では、総会に付議すべき事項及び令和4年度ヒートアイランド対策技術セミナーの開催について審議した。

第2回企画運営委員会（令和5年3月13日）では、各WG（モデル街区WG＋空間評価WG・合同WG、都市デザインWG、排熱低減WG、技術評価WG）の進捗状況及び令和5年度ヒートアイランド対策技術セミナーの開催について審議した。

(3) 認証制度運営委員会の開催

第1回認証制度運営委員会（令和5年2月16日）では、認証製品の申請について審議した。

(4) 部会・WGの開催

第1回部会（令和4年7月25日）では、2025年日本国際博覧会協会協賛（会場整備参加・運営参加）について議論した。また、令和4年度の各WGの活動計画及び活動状況を報告した。

第2回部会（令和5年1月23日）では、2025年日本国際博覧会協会協賛（会場整備参加・運営参加）の進捗状況及び協賛を契機とした新規会員勧誘戦略の検討について議論した。

第3回部会（令和5年3月13日）では、2025年日本国際博覧会協会協賛（会場整備参加・運営参加）について議論した。また、令和4年度の各WGの活動状況及び令和5年度の活動計画について議論した。

モデル街区WG＋空間評価WG・合同WGは計3回、都市デザインWGは計5回、排熱低減WGは計2回、技術評価WGは計5回、日射反射材認証制度検討WGは1回開催した。

(5) ヒートアイランド対策技術セミナーの開催

ヒートアイランド対策技術セミナーを計2回開催した。

1. 第1回ヒートアイランド対策技術セミナー

開催日時：令和4年7月25日 13時30分から15時30分

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）及び会場

（会場：大阪市北区曽根崎新地2丁目2-16 関電不動産西梅田ビル701号室）

内 容：「海風を考慮した都市気候特性」

講演：松尾薫氏（大阪公立大学大学院 農学研究科 助教）

「海風が都市域にもたらす気温低減効果」

講演：横山真氏（福山市立大学 都市経営学部 講師）

「沿岸部の気象観測結果」

講演：奥村智憲氏（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部 主査）

「パネルディスカッション」

参加者：45名（オンライン41名、会場3名）

2. 第2回ヒートアイランド対策技術セミナー

開催日時：令和5年1月23日 13時30分から16時00分

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)及び会場

(会場：大阪府中央区北浜東3-14 エル・おおさか 本館7階 709号室)

内 容：「都市の熱環境を考える ～ 建物・外皮・人・植栽を対象として～」

講演：吉田篤正氏(大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 客員教授・早稲田大学 理工学術院 教授)

「グリーンインフラ ～ 緑の多面的機能～」

講演：増田昇氏(大阪府立大学 名誉教授・LA まちづくり研究所 所長)

「パネルディスカッション」

参加者：24名(オンライン21名、会場3名)

(6) 大阪地域のヒートアイランド・暑熱環境対策シンポジウムの開催

大阪地域のヒートアイランド・暑熱環境対策シンポジウムを開催した。

開催日時：令和4年4月28日 13時30分から16時30分

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容：「まちなかの暑熱環境対策評価」(モデル街区WG)

「歩行者・空間滞在者の暑熱環境評価指標」(空間評価WG)

「暑熱環境対策の性能評価」(技術評価WG)

「クールスポットの評価システム」(都市デザインWG)

「排熱削減技術と未利用熱の有効活用」(排熱低減WG)

「パネルディスカッション」

参加者：65名

(7) 活動内容の周知

ニュースレター『大阪 HITEC NEWS vol.19』を令和5年3月に発行した。

(8) ホームページの充実

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの活動成果などについて、随時、情報を更新した。

(9) ヒートアイランド対策技術認証制度のリーフレットの配布

法人会員及び個人会員の情報を更新の上、ホームページに掲載した。また、関係者へリーフレットを配布した。

(10) コンソーシアムなどの認知度・ブランド力の向上

日本ヒートアイランド学会(令和4年9月16日から9月18日)及びおおさか市民環境大学2022(令和5年3月11日)に出展し、大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの最近の主な取り組みや各WGの活動などのPRを実施した。

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの最近の主な取り組みやヒートアイランド対策技術認証制度などのPRを実施した。

(11) 2025年日本国際博覧会協会（会場整備参加）の取組み

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会と令和5年2月6日に「2025年日本国際博覧会 協賛（会場整備参加）」に関する契約を締結し、2025年大阪・関西万博の会場における温熱環境シミュレーションを実施した。

具体的には、温熱環境評価に基づく暑熱リスクの高い空間の検討と暑さ対策技術の導入効果のシミュレーションを実施し、夏の暑い時間帯に大屋根が来場者に日陰空間を提供する可能性を評価した。

協賛事業名：大阪・関西万博 会場整備参加事業

協賛クラス：サプライヤー

2025年日本国際博覧会協会 会場における温熱環境シミュレーション(会場整備参加)

【部会】

部会長：竹林英樹（神戸大学大学院 准教授）

1. 令和4年度の事業内容

- (1) 各WGの令和4年度（今後）の活動について議論した。
- (2) 2025年日本国際博覧会協会 協賛（会場整備参加）について議論した。
- (3) 2025年日本国際博覧会協会 協賛（運営参加）について議論した。
- (4) 2025年日本国際博覧会協会 協賛を契機とした新規会員勧誘戦略について議論した。
- (5) 各WGの令和4年度の活動状況及び令和5年度の活動計画について議論した。

2. 令和4年度の活動状況

- 第1回 令和4年7月25日
第2回 令和5年1月23日
第3回 令和5年3月13日

【モデル街区WG＋空間評価WG・合同WG】

モデル街区WG主査：竹林英樹（神戸大学大学院 准教授）

空間評価WG主査：吉田伸治（奈良女子大学大学院 准教授）

1. 令和4年度の事業内容

- ・モデル街区に選定した大阪府クールスポットモデル拠点推進事業実施箇所において、日除けによる暑さ対策効果の再現シミュレーションを行い、クールスポットとしての効果を考察した。
- ・万博会場での温熱環境指標 WBGT・SET*の分布図を作成した。日射遮蔽、地表面被覆が温熱環境指標の分布に及ぼす影響を考察した。それらを踏まえて暑さ対策技術導入の提案、シミュレーションを検討した。
- ・群衆の熱的影響の数値モデルの具体的な考えを整理した。
- ・群衆影響を評価する際に重要な人流を計測する方法を調査し、本WGの取り組みで用いる方法を検討した。
- ・屋外空間における温熱環境評価の考え方の整理を行った。

2. 令和4年度の活動状況

- 第1回 令和4年6月22日
第2回 令和4年10月5日
第3回 令和5年1月12日

3. 事業計画における今後の方針

- ・モデル街区に選定した大阪府クールスポットモデル拠点推進事業実施箇所において、ミスト噴霧による暑さ対策効果の再現シミュレーションを行う。
- ・万博会場の温熱環境指標 WBGT・SET*の分布の特徴を分析する。それを踏まえて暑さ対策技術導入の提案、シミュレーションを検討する。

- ・ 群衆影響の数値モデルの実装を図る。
- ・ 制作した群衆影響を考慮した屋外温熱環境評価技術を用いて、群衆密度が滞在する人体の熱的生理メカニズムに与える影響を分析する。

【都市デザインWG】

都市デザインWG主査 鍋島美奈子（大阪公立大学大学院 教授）

1. 令和4年度の事業内容

- ・ 格付け可能なクールスポット評価システムを構築することを目的として、駅前に設置されたクールスポットを対象に現場実測調査を行い、環境計測方法の検討を中心に行った。
- ・ 令和3年度までは緑化を中心としたクールスポットの評価を行ってきたが、令和4年度に対象とした駅前クールスポットでは、ミスト噴霧や日除け屋根、ポット型植栽が中心であるため、環境計測方法から再検討を行った。
- ・ 技術評価WG（西岡真稔 WG主査）と合同で都市デザインWGを開催し、クールスポット評価の物理環境計測方法について情報共有を行った。
- ・ 評価対象地は「令和2年度森林等環境整備事業(都市緑化を活用した猛暑対策事業)の実績に係る評価」から3地点を選定し、令和4年8月に現場実測調査を行った。
- ・ 府の猛暑対策事業では対策評価を対策有無のWBGT 差で実施しているため、府担当者への課題のヒアリングを行い、同様の方法で評価を行う際の問題点の洗い出しなどを中心に整理を行った。
- ・ 8月23日の現場実測調査の際に、主にWGメンバーを対象とした見学会も開催した。
- ・ 啓発活動の一環として市民を対象としたクールスポット・クールロードの現地研修会は実施しなかった。

2. 令和4年度の活動状況

- 第1回 令和4年5月20日
- 第2回 令和4年7月1日
- 第3回 令和4年10月6日
- 第4回 令和4年12月19日
- 第5回 令和5年3月22日

3. 事業計画における今後の方針

- ・ 格付け可能なクールスポット評価システムを構築することを目的として、駅前に設置されたクールスポットなどを対象に現場実測調査を行い、環境計測方法や評価指標の検討を行う。
- ・ 令和4年度に引き続き、府の猛暑対策事業担当者への課題のヒアリングを行い、対策有無のWBGT 差で評価を実施する際の注意点を整理する。
- ・ 評価システムの運用方法について、マニュアル化を検討する。
- ・ 啓発活動の一環としてクールスポット・クールロードの現地研修会を企画し、その際、暑熱環境などの計測技術を講習やHITEC 会員企業のヒートアイランド対策製品の効果確認とPRなども検討する。

- ・大阪府クールスポット 100 選（平成 24 年）及び大阪府クールロード 100 選（平成 27 年）のホームページを継続しつつ、新たな情報発信の手法について検討する。

【排熱低減WG】

排熱低減WG主査 西村伸也（大阪市立大学 名誉教授）

1. 令和4年度の事業内容

- ・ヒートアイランドを考えるうえで、地球温暖化対策としてのカーボンニュートラルの観点から、エネルギー政策や都市の温熱環境緩和への影響を評価・予測することが重要である。
- ・第1回のWGでは、再生可能エネルギーの一例として廃棄物を利用した「メタネーション」実証施設の見学を行った。
- ・第2回のWGでは、民生部門の省エネルギーについて、2件の話題提供を受けて意見交換を行った。

2. 令和4年度の活動状況

第1回 令和4年7月12日

第2回 令和5年3月1日

3. 事業計画における今後の方針

- ・人工排熱の大気熱負荷削減方法に関する情報収集・調査、ならびに検討、広報
- ・未利用熱・排熱などの活用に関する情報収集・調査、ならびに検討、広報
- ・地球温暖化防止対策としてのカーボンニュートラルに関する諸施策がヒートアイランドに及ぼす影響の評価。令和4年度に引き続いて、企業、行政などからの話題提供を企画
- ・万博会場における人工排熱の低減
- ・ヒートアイランド対策の短期、中期、および長期スケールにおけるロードマップの作成

【技術評価WG】

技術評価WG主査 西岡真稔（大阪公立大学大学院 教授）

1. 令和4年度の事業内容

- ・日除け、ミスト、その他街区における人への熱的負荷軽減に資する技術を対象に、性能評価方法について検討した。
- ・夏季の実測を行い、市販の WBGT 指数計を用いた物理測定に基づく評価の試行、問題点の整理を行った。

2. 令和4年度の活動状況

第1回 令和4年5月20日

第2回 令和4年7月1日

第3回 令和4年10月6日

第4回 令和4年12月19日

第5回 令和5年3月22日

3. 事業計画における今後の方針

- ・日除け、ミスト、その他街区における人への熱的負荷軽減に資する技術を対象に、性能評価方法をまとめる。
- ・昨年度に引き続き、作成中の性能評価方法に基づく評価の試行、問題点の整理を行う。
- ・市販の WBGT 指数計を用いた物理測定に基づく性能評価方法の文書化の完成を目指す。

【熱負荷評価手法WG】

熱負荷評価手法WG主査 芝池英樹（京都工芸繊維大学 准教授）

1. 令和4年度の事業内容

- ・認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーション手法についての検討を行う。

2. 令和4年度の活動状況

- ・開催実績なし

3. 事業計画における今後の方針

- ・認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーションツールに据えて、入力パラメータの調整や入力条件の整備等についての検討を行う。

【日射反射材認証制度検討WG】

日射反射材認証制度検討WG主査 西岡真稔（大阪公立大学大学院 教授）

1. 令和4年度の事業内容

- ・ヒートアイランド対策技術認証制度について、窓フィルム以外の用途の日射反射フィルムの申請に関する認証基準及び試験方法などを検討した。

2. 令和4年度の活動状況

- ・令和5年3月30日

3. 事業計画における今後の方針

- ・ヒートアイランド対策技術認証制度について、窓フィルム以外の用途の日射反射フィルムの申請に関する認証基準及び試験方法などの検討を行う。